

学校だより

光輝燦然

～ 磨け！自分の色 ～

第37号 令和4年12月8日（木）発行 発行責任者 校長 馬場廣明

学校評価アンケート結果の速報、回答率55%でした。

保護者の皆様にはお忙しい中、学校評価のアンケートにご回答していただきまして、ありがとうございました。今年度は新たな試みとして紙面形式から携帯電話等から回答できるシステムとしました。しかし、初めての取り組みでもあったため、なかなか保護者の皆様も回答することに慣れていないこともあり、回答率は約半数の55%でした。今年度の反省をもとに次年度は再検討していきたいと考えています。詳細なアンケートの結果につきましては、この後別紙で保護者の皆様にはお知らせいたします。今回は保護者の皆様よりいただいた自由記述のところで、特に気になった点をいくつかご紹介させていただきます。



（西中は強固の一枚岩です）

- 学校だより・学年だより、ホームページ等、活躍する生徒の報告や目立つ生徒の話題が多くなりがちであり、なかなかそうでない生徒の話題が少ないと思います。
- 文化部の活躍も掲載してほしいです。
 - 特にホームページではできるだけ多くの子どもたちの活躍する場面をと、写真を撮っているわけですが、それでもどうしてもそうなくなってしまっているようです。今後もいろいろな生徒たちの活躍ぶりを掲載できるよう、引き続き努力させていただきます。
- 学校にお伺いしたときなど、挨拶できる生徒が少ないように感じます。
 - いろいろな場面において指導はしています。しかし、部活動では立派な挨拶ができ、他の場面にうまく結びついていない生徒もおり、その都度指導しているところです。挨拶は日常生活の中で最も大事なことであり、今後も繰り返し指導していきたいと思います。
- 学年通信の発行回数が昨年度に比べて少ないのが残念です。
 - 現在は、学校・学年・学級・保健・給食・進路だよりが定期的に発行されています。毎週発行されているのは、学校・1学年・2年3組の学級だよりです。学校だよりは別にして、先生方には負担のない範囲でお願いしていますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。
- 「将来的に学校より部活動がなくなる」と聞いています。すべての子どもがクラブにいけるのではないので、ぜひ学校部活動の存続をお願いします。
 - 国や県、須賀川市の方針等もあるので今後どうなっていくかは分かりません。ただ私たちは子どもたちのために、与えられた環境や条件の中で、授業や部活動、学校行事等に全力を尽くして頑張るだけです。
- 毎日の部活動について、もう少し充実した取り組みをしてほしい。学校長として活動内容を把握することも必要でないかと思います。
 - 「専門だからできる」「専門でないからできない」ではなく、その指導者の生徒への思いや意気込み、やる気だと思っています。なかなか難しい問題です。ただ全体的にはどの部活動も一生懸命に頑張っています。
- 新型コロナウイルス感染症対策をしたうえでの学校行事の開催を強く望みます。
 - その他にも例えば、文化祭は全学年の保護者に見せてほしい。（入れ替え制も可）また、中止するのではなく、知恵を出し合い実施の方向で持っていくべきである。などの意見もありました。そのとおりでお願いいたします。

ます。次年度はコロナ感染状況を見ながら前向きに開催していければと思います。

- もっと丁寧に子どもの話を聞いてほしい。感情的になって子どもを振り回さないでほしい。
 - 連絡事項等の期日や内容の急な変更に対応が困難です。
 - そのとおりです。ご意見を真摯に受け止め、今後の学校経営を図っていきたいと思います。
 - 子どもたちの意欲や気持ちを削ぐような言動が気になります。また、学習進度・定期テストの在り方など、他校と差がないように取り組んでいただきたいです。
 - 当然、言葉の暴力はあってはならないことです。特に思春期の中学生、ちょっとしたことで傷つきやすいです。私たち教職員も十分に気をつけていきたいと思います。定期テストにつきましては、技能教科がなぜ2教科（保体・技家）だけなのか、全教科やっていただきたいとのご意見でもあります。次年度に向けて検討させていただきます。
 - 学年通信等の写真が白黒で見づらいです。メールで送信できないものですか。
 - ペーパーレスを推進し、紙面での配付をなくし、メールでの一斉配信（学年・学校）もいいですね。次年度に向けて検討していきたいと思います。そうすれば保護者全員がメール登録できることにも繋がります。
 - 昨年度は進路説明会があったが、今年はなく不安を感じました。進路に関しては第1子であり分からないことばかりです。ぜひ毎年行っていただきたいです。
 - 貴重なご意見ありがとうございます。次年度に向けて検討させていただきます。ただ今年度は新たな試みとして、「進路だより」を定期的に発行し情報提供をさせていただいております。
 - ハンカチを持たずにトイレットペーパーをハンカチ代わりに使用している生徒がいるようです。
 - ハンカチ・ちり紙は常備するよう、再度、指導をしていきます。
 - テニスコートやプール跡地が夕方になるととても暗いです。また、通学路にも暗いところが多くあり、街路灯を付けてほしいです。
 - テニスコート脇の砂利の駐車場の状況が悪くなっています。
 - テニスコートの水はけが悪いです。
 - 状況を把握し、市にも要望は出していきたいと思います。
 - 自転車の乗り方が悪く、危険です。
 - 生徒の命に関わることであります。その都度厳しく指導していきたいと思います。いろいろな場面において、「命は1つ」大切にしなければならないことを指導しているところです。
 - 通学カバンが重すぎます。改善策を考えていただきたいです。
 - 生徒たちには学校へ置いてもよいもの（資料集等）と持ち帰るものをきちんと区別して、指導しています。再度、各学年・クラスで確認していきたいと思います。私自身は毎日の登校指導より、反対にカバンの軽そうな生徒が多いような気がしています。
 - 新型コロナウイルス感染対策と感染者の情報提供について
 - 本校の養護教諭を中心に、先生方の打合せ時に確認したり放送で換気等の呼びかけを行っています。また、定期的に発行される保健だより等でも発信していますし、保健委員会の取り組みも充実させています。あとスクールサポートスタッフの先生に生徒たちが触れる場所（ドア・扉等）をアルコールで毎日拭いていただいております。感染者の情報提供（人数やクラス等）につきましては、個人情報の問題もありますので、教えることはできません。ただ臨時休校や学年・学級閉鎖は今まで一度もしておりません。それは保護者の皆様のご協力によりまして、感染者数が少ないからです。ご理解のほどよろしく願いいたします。
- お忙しい中、本校の更なる発展のための前向きなご意見を多数いただきまして、ありがとうございました。いただきましたご意見は今後の学校生活（すぐに実行できるものはすぐに）や次年度の教育課程等に生かして行きたいと思っております。しかし、これらの意見以上に学校に対するお褒めのお言葉も多数いただいております。お褒めのお言葉は今回は掲載いたしません、今後も初心を忘れずに私たち教職員が一枚岩となって西中のために頑張っていきたいと思っております。

~本校ホームページのアクセス数が137万8千件を突破！いつもご覧いただきありがとうございます。~